

教育基本目標

豊かな心を持ち、主体的・協働的に学ぶ本北っ子の育成を図る

教育具体目標

広い心を持ち、仲良く
助け合える子

進んで学び、よく
考える子

活力があり、がん
ばりぬく子

知識・技能

思考力・判断力・表現力等

学びに向かう力・人間性等

よさを生かし関わる力
(コミュニケーション力)

問いをもてる力
(課題発見力)

自分を信じる力
(自己肯定感)

教科横断的な視点
(学習指導)

PDCAによる改善
(学校評価を軸に各分掌)

人・物・金・時間の改善
(教頭)

教育課程編成 (教務主任)

教務主任を中心に各分掌・学年によるPDCAを反映してつくる。

学年や教科の指導計画 (学習指導主任・各学年主任)

○学年の指導計画 (横断的な授業づくり) ○年間計画に反映

新学習指導要領の「資質・能力3つの柱」をもとに、本校における資質・能力を設定し育成していく。

新学習指導要領の「資質・能力3つの柱」

教育具体目標1つについて目指す資質・能力一つを話し合いで決定する。

資質・能力を育成するために、カリマネの3視点から見直していく。各担当が中心となってカリマネを行っていく。

学習指導主任を中心として、年間計画に反映する。

3視点をもとに、各部、各分掌・各学年で試行していく。それらの実践を教務主任が中心となって教育課程に反映する。

学校運営協議会で教育課程に関してご意見を伺い改善することで、地域に開かれた教育課程の編成を行う。学校評価を中心にPDCAのサイクルで見直しをしていく。